2015 年 4 月 1 日

公益社団法人 日本鋳造工学会
研究委員会 委員長　菅野利猛様

生型研究部会　部会長
橋本　邦弘

生型研究部会の運営（部会長選出）に関わるお願いの件

題記の件、「生型管理技術の再構築」をテーマとした研究部会活動が 2015 年 3 月末で区切りを迎えました。それに伴って、新部会長の選出と新テーマでの常設部会としての運営を継続したく考えております。

前記テーマでの最終の部会（2015/2/19　第 12 回）において、元 株式会社アイメタルテクノロジーの佐藤和則氏に新部会長に就任いただき、活動テーマの継続の方針のもとに「生型管理技術の再構築 Ⅱ」として活動することを参加委員全員の賛成による部会決定としております。

しかし､3 月度定例理事会において佐藤和則氏が事務局に入局されるという理事会報告がございました。これを受け、研究部会として種々の検討を重ねた結果、佐藤和則氏の部会長就任を改めて研究委員会として了解お願いしたいとの結論となりました。この結論に至った研究部会としての理由は、次のようなものです。

【佐藤和則氏の部会長就任了解お願いの背景】

1）生型研究部会は、常設研究部会の中でも最も長い歴史を有する常設研究部会の一つであり、これまでの鋳造技術分野での貢献度は極めて大きいと言えます。更に、昨今の大学・公設試における生型に関する研究者の激減傾向中で、日本の生型造型技術による鋳物づくりの学問的・技術的優位性を維持するという観点から、益々その存在意義は重要なものとなっています。したがって、日本の鋳造技術の発展という観点からも、生型研究部会の常設研究部会としての永続的な活動維持は不可欠と考えます。

2）しかしながら、現在の生型研究部会の主力メンバーである企業委員おいては、世代交代が進みつつある段階にあります。その意味で、次期部会長の役割としては、研究部会構成委員の世代交代を支えながら次世代を担う委員の育成による生型研究部会の永続的な活動基盤を再構築することが付加される状況にあります。

3）佐藤和則氏は、生型管理技術に関する豊富な研究実績を有しておられ、その知識と見識は生型の管理技術の研究・開発関係者、第一線の企業技術者から高く評価されています。鋳造工学会生型研究部会のこれまでの活動を踏まえながら更に発展させることができる最適者としての評価は、生型研究部会委員全員の一致するところとなっていると考えます。

4）以上のことから、生型研究部会として佐藤和則氏を新部会長として全員一致で推薦した経緯を踏まえ、是非とも新部会長への就任を研究委員会として了解をお願いしたいと考えます。

次葉へ

前葉より

尚、上記お願いをするにあたり、日本鋳造工学会としての事務局の役割の重要性についても生型研究部会として検討し、次のような活動体制にて佐藤新部会長をバックアップすることにいたしましたので、併せて報告いたします。

【生型研究部会の運営体制の見直し】

従来、部会長１名・幹事１名の合計２名での運営をしてまいりましたが、副部会長１名を新たに選任するとともに、幹事２名体制として佐藤新部会長をバックアップするとともに次世代の育成を図ることといたしたく考えます。

［新運営体制案］

部会長	佐藤和則（元　株式会社アイメタルテクノロジー）
副部会長	前田安郭（大同大学　教授）
幹事	川島浩一（株式会社マツバラ　執行役員）
幹事	曽根 孝明（株式会社瓢屋　開発部長）

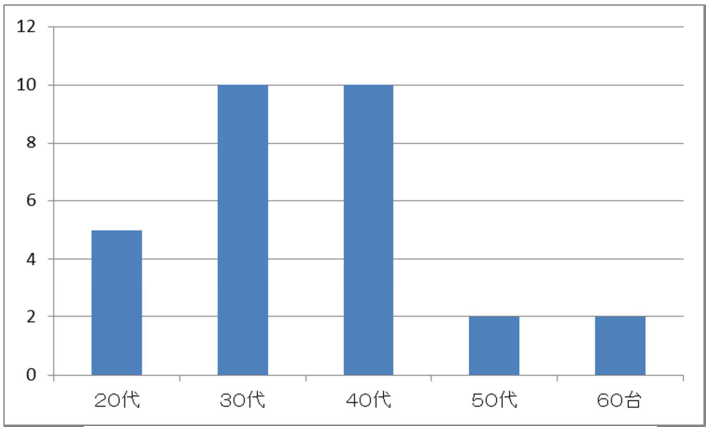
以上

［添付資料］

参考資料「2015/3 月末時点での生型研究部会の委員構成」

【参考資料】2015/3 月末時点での生型研究部会の委員構成

NO.		氏名	所属１	所属2
1	部会長	橋本　邦弘	新東工業㈱	鋳造開発技術グループ
2	幹事	前 田　安郭	大同大学	教授
3	委員	村川　悟	三重県工業研究所	金属研究室　　（委員選任中）
4	委員	高 森　晋	物質・材料研究機構	新構造材料センター
5	委員	田島　俊造	広島大学大学院	教育学研究科 教授
6	委員	加藤　洋明	アイシン高丘㈱	技術開発部 工法開発G
7	委員	大長秀典	旭テック㈱	生産技術部製造技術グループ
8	委員	西野 剛	コマツキャステックス㈱	技術部 生産技術課
9	委員	村本　祐麿	JFE継手㈱	製造部
10	委員	佐藤　和則	㈱アイメタルテクノロジー	技術本部 技術センター
11	委員	高 橋 芳 彦	福島製鋼㈱	鋳造部 技術員グループ
12	委員	上林　仁司	㈱ツチヨシ産業	技術部
13	委員	寺島　崇雄	豊洋ベントナイト鉱業㈱	
14	委員	梶田　貴弘	土岐可鍛工業㈱	製造部 技術員室
15	委員	西原　孝行	森川産業㈱	技術部
16	委員	土本　育男	クニミネ工業㈱	名古屋支店
17	委員	伊藤　辰弥	浜北工業㈱	技術部
18	委員	川島　浩一	㈱マツバラ	営業部　開発営業担当
19	委員	倉上　一輝	㈱ヤマトインテック	素形材部 技術課
20	委員	末原　清	日立金属㈱	真岡工場　鋳鉄グループ
21	委員	樋口　茂	中央可鍛工業㈱	鋳造部 技術課
22	委員	田中　直也	㈱コヤマ	製造部　生産技術課
23	委員	松本　圭司	㈱クボタ	機械ＴＰＩ推進部　恩加島工場駐在
24	委員	三反　良夫	虹技㈱	小型鋳物事業部 製造グループ
25	委員	曽根　孝明	㈱瓢屋	技術・商品開発室
26	委員	永田　功治	大銑産業㈱	鋳物本部　技術部
27	委員	森川　啓三	森川鉄工㈱	取締役
28	委員	藤井　真	太洋マシナリー㈱	生産部　設計グループ
29	委員	小倉　裕一	新東工業㈱	鋳造開発技術グループ
30	委員	斉藤　慶太	㈱ツチヨシマテック	東海事業所
31	顧問（前部会長）	米北　洋一	摂津電機	代表取締役社長（元　大洋マシナリー）
32	顧問（元部会長）	金 森　敬	㈱金森メタル	代表取締役社長
33	顧問（元部会長）	（太田　英明）	元名古屋工業技術研究所	
34	顧問	（池永　明）	元大阪府立大学	
35	アドバイザー	五家　政人	新東工業㈱	研究開発センター　顧問
36	アドバイザー	栗熊　勉	栗熊技術事務所	



顧問・アドバイザーを除く委員年齢構成